

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本ペプチド学会, 日本化学会, 日本バイオイメージング学会
※	実験動物学会
※	タンパク質科学会
※	日本動物学会
※	日本RNA学会
※	日本ウイルス学会 日本獣医学会
※	日本薬学会、レギュラトリーサイエンス学会
※	日本薬学会
※	極限環境生物学会
※	歯科基礎医学会
※	日本染色体学会
※	日本内分泌学会
※	日本獣医学会
※	日本環境変異原ゲノム学会
※	日本ゲノム編集学会
※	北米神経科学学会
※	日本化学会, 日本分析化学会
※	日本DOHaD学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている 記述
※	もう少し生化学寄りの話もほしい
※	植物関連に分子研究の発表は少ないです。

質問5-10. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	一部オンラインでの聴講ができない(発表者のマイクがミュートになっているセッションがあった)。運営にはオンラインでの聴講にも配慮をしていただきたい。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	展示場で行われたワークショップに関しては、周囲の音が気になる場面が多々あったため、会議場で行う形式で統一する方が良いと考えられる。
※	近い分野のワークショップが同じ時間帯に開催されていたので、悩んだ。
※	ONLINE
※	男女参画への方法としては良いかもしれませんが、ワークショップで比較的若い女性の発表とベテランの男性研究者の発表という構成が多かったように思います。若手の女性を入れるなら同年代の男性を含めるようにしないと結果的に男性優位の環境と変わりません。
※	類似テーマのワークショップが複数同時進行しており、発表者や参加者の分散が起きてしまっていた
※	ワークショップ企画公募で「指定演者のうち少なくとも30%程度は女性講演者とする」ことが応募条件に入っていた点について、性別関係なく研究内容で選んでほしい。
※	ハイブリッドで行えたこと自体はとて高く評価する。大変ありがたかった。一方でオンラインで文章として質問を投げても拾ってもらえないことがあった。オーガナイザー、運営含め、大変だとは思いますが、より良い議論のために次回以降は対応い
※	12について応募条件を設けないと、意図して男性を選ぶオーガナイザーがいるのであれば非常に残念である。男女関係なく講演者を選んでほしいところであるし、上記の応募条件によって講演者を選ぶのは女性に対して失礼であると思う。
※	染色体分野のワークショップが二日目の午後に偏っていた。分野の振り分けをもう少し考えてほしい。
※	興味深いセッションがたくさんあったが、同時時間帯に並行して行われるWS数が多く、回りきれなかった。また日によってセッションの分野に偏りがあるように感じた。テーマ的にも、時間的にも分散できればなおよい。
※	もう少し生化学寄りの話もほしい
※	個室でない会場のもの(番号後半)では、会場までの移動(展示会場内)が暗く、場所がわかりにくかった。周りの音が気になることがあった。立ち見が発生していたセッションについて、座長が荷物等どけるよう呼び掛けていたものもあったが、案内がないものもあり、空席があっても会場内に入れず、視聴が難しいものがあった。通路が少なく、中央の座席に着席しにくいことも要因であったように思う。上記改善をご配慮いただけますと幸いです。

質問7. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	奇数組から偶数組に切り替わる時間の間に10分ほど欲しかった
※	ポスターセッション時間中にポスター前に発表者がいないことがあった
※	偶数奇数に分かれてポスター発表があったが、長時間話している場合が多く、場所が狭く感じた。周りの人が多すぎて、立ち止まりにくいポスターがあった。
※	1日でのポスターの時間を半分に分け、奇数・偶数で交代制にして欲しい。隣の人とのスペースが狭かった。
※	節電対策で仕方なかったと思うのですが、ポスターの所の電気が消されているのが少し悲しかったです。またセッションの時間が終わる時に何のアナウンスも無しに急に電気を暗くされたので、それは残念でした。まだ解説やディスカッションしてる方も多かったので、何か一言でもあれば印象が違かったように思います。
※	会場の問題かもしれませんが、ポスターの場所は少しバラバラで回りづらかった
※	節電などの兼ね合いもあったでしょうが、ポスター会場の電灯がポスター発表の時間が終わるとすぐに消されてしまったのが不便でした。また、ポスター番号の隣にQRコードを張るなどして、webサイトの発表ページに質問を送れるようにするとよかったですと思います。手間に対して大きな利益が得られると思います。
※	偶数・奇数発表の時間について、例年通りアナウンスがあっても良い気がした。
※	初日にポスター発表の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となり、発表を行うことができませんでした。このような状況でしたが、事務局の方がご丁寧に対応してくださり、ポスターを掲示することができました。感謝申し上げます。
※	12についてシステム自体は良かったが、発表者が非常に早口であったり声が異常に小さかったりと聞きづらい発表が多かったのが少し残念だと思った。
※	サイエンスピッチで、ベルを鳴らす時間などが分からなかったもので、あらかじめ告知してほしいです。
※	ポスター発表時間終了後、すぐに区画内が消灯されたため、議論途中にもかかわらず早急に退去せざるを得なくなったのは、大変不本意であった。特設会場でのワークショップのために明るさ調整が必要であったことは理解するが、互いに干渉しない距離をとって区画を分けるか、最低限の消灯で対処するなど、議論時間の余裕を確保する策を講じて欲しい。
※	今年は特に発表日におけるテーマの偏りがあるように感じられた。そのため関心のあるテーマの発表が固まっている日には回りきれず、逆に持て余してしまう日もあった。
※	高校生のポスター発表に関して、Twitter上で@〇〇〇さんが「女子高校生に対する不適切な声かけ」を目撃したとありました。傍から見れば冗談か区別はつかず、不安を感じる方もいたのではないかと思います。対策にコストを割けないとは思いますが、公式Twitterを活用して学会期間にハラスメントを目撃した際の対応マニュアルをツイッター上で公開するなどされると、さらによい学会になるかと思えます。
※	ポスター発表は密になり、前年度のワクチン接種証明シールのようなものもなかったもので、感染対策をご考慮いただきかったです。
※	ポスター発表の時間帯を揃えた方が良いと思った。日によって違うのはややこしい。照明があまり点いていない場所のポスターは見づらかった。ピアノやバイオリン等のコンサートがあるのは気分が落ち着いて良いが、その近くで発表している人の声が聞こえづらいので、もう少し離れた場所が良いと思った。

質問8. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	全体的にスケジュールがタイトであった。また、午前中の開始時間はともかく、全体的に19時より前に企画が終わるようにしていただきたい。
※	自身のポスター発表の際に同じ研究セクションのポスター発表があると興味のある他のポスターを見に行けないことが不
※	最終日夕方のWSでは、展示場での撤収作業の音が響き、聞こえづらかった。
※	3日間の講義系イベントの量的なバランスを取ってほしかったです。特に1日目は早朝と夜にプレナリーレクチャーがあり、少し大変でした(1時間半ほどかけて会場に来ていたこともあり…)。1日目に色々集中していたように感じたので、どれかを3日目に移動させるなどしていただけたらより良かったです。
※	サイエンスピッチとランチョンセミナーの時間が被ったりぎりぎりすぎたために、発表時や、発表鑑賞時に、途中で切り上げることや、走るが必要になってしまった。

質問9. フォーラムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述(参加されたフォーラムの感想を含めて)
※	遅めの時間のフォーラムは参加者が少なく、もったいないと感じた

質問10. 年会の発表言語について(本年会では、シンポジウム:英語、ワークショップ:オーガナイザーに一任) <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ライブキャプションは意味がなかったところか、議論に有害であったと感じた。正確性にあまりに欠けるため、そちらに気を取られ、内容に集中できなかった。また、ライブキャプションの分だけスライドの表示が小さくなり、見にくい場面が多々あった。
※	英語ができないと研究者として成長できません。キャプションなしで全て英語にして良いと思います。また日本語のキャプションは漢字変換がまったく成立しておらず、不要に思います。
※	留学生を含め非日本語圏の参加者が増えているなか、英語セッションの数が増えていることは評価する。学会サイト上の演題を英語にしたり、ポスターの記載言語も英語にするなど、国際的な学会参加を促せる動きを期待したい。
※	字幕表示が気になってしまい内容に集中しにくいことがありました。自分でOFFできたのでしょうか…？ただ新しい試みとして良かったと思います。

質問11. 本年会では一人一演題の制限を廃止しました(ただし複数演題の投稿は可能ですが、異なる研究内容に限るものとしました)。また、発表者に演題投稿時Graphical Abstractの提出をお願いしたり、講演セッションについては内容が一目で把握できるようセッション名の略称も付けていただくなど、参加者のサイエンティフィックな出会いの可能性を広げる仕掛けを試みています。その点についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	前回あった動画での発表の概要が好きでした。ぜひ復活させてほしいです。
※	自身の発表は、分子生物系の要素が少なかったのでGraphical Abstractを作成しにくかったため、希望者だけで良いのではと感じた。

質問12. 年会の参加登録・演題登録システムおよび視聴サイト(AGRI SMILE社ONLINE CONF)や当日のトラブル対応などのオンラインサポート体制についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	曜日を指定した上で、気になる発表が調べられるようにしてほしい
※	要旨・プログラムサイトをスマートフォンで見るとは難しいと感じたため、タブレットを用いた。特に、タイムテーブルが小さい画面では見づらく、結果的にグラフィカルアブストラクトをスマートフォンで見ることがなかった。
※	サイトの速度が少し遅かった。
※	参加登録時に学会会員登録をしておらず、サイトの誘導通り、正会員で仮登録を行ったところ、学生にも関わらず正会員料金が引き落とされてしまった。運営にも連絡を取ったが、返金処置などもできず、かなり印象が悪い。運営面で後味の悪い学会となった。
※	海外の研究者の名前の姓名のみが英語表記の際に反転し、日本人の名前はそのままであったので、どのように登録すべきだったのか理解できませんでした。ONLINE CONFに直接連絡して変更してもらいました。
※	「推しガチャ」面白い取り組みと思いますが、grafical abstractが見づらく不便を感じ、個人的にあまり活用しませんでした。PCではもう少し大きく表示されるとよさそうです。
※	要旨・プログラムサイトがスマートフォンから見られるのはとても便利でしたが、多少見にくい部分があったのと(タイムテーブルが特に)動きが重いのが少し気になりました。
※	紙芝居の要旨抄録が良い
※	推しガチャは激烈に良い試みでした。次年度以降も実装して欲しいです。
※	会場内で使えるwifiのpassなどの情報が、当日にオンライン上でされており、そもそもそれを閲覧することが会場では出来なかった事は改善を望む点である。少なくとも前日か、もしくは会場内でネットに繋がずに看板などでwifi情報を入手できるようにしていただきたい。
※	要旨・プログラムサイトでランチョンセミナーの申し込みや当選確認ができれば便利だと感じました。また、演題検索が口頭発表とポスター発表にわかれていましたが、まとめて検索する機能が欲しかったです。
※	セッションやポスターの詳細へのアクセスがわかりにくかったです。スマートフォンでの操作ではピンポイントで検索することができず、不便に感じました。
※	2019年に福岡で年会が開催されたときはアプリで、それがとても使い勝手が良かったのでできれば毎年使用してほしい。
※	動作がやや遅かったように感じました

質問13. 本年会では昨年に続き、一般演題のタイトル情報まで入った詳細な(A5サイズ・厚さ1~2cmの)年会プログラム集冊子や年会アプリは作成しませんでした。また、会員の皆様にはプログラム集冊子に同封発送していた学会会報(年3回発行)の11月号も印刷版作成を見送っています。これらについてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	要旨の検索機能が充実していればアプリでもネット上でもどちらでも構いませんが、検索キーワードが完全一致でないと見つからないため興味のある発表を探すのに非常に苦労しました。
※	紙芝居の要旨抄録が良い!!!
※	ガイドマップにはあまり利点を感じませんでした。

質問14. 年会・学会のその他の講演に関する取り組みについて、良かったと思うものを選んでください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	サイエンスピッチを導入したこと。

質問15. 企業展示会等でよかったと思うものを選んでください<複数回答可>(要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	ポイントラリーの景品の在庫を増やしてほしい。
※	ポイントラリーで貯まったポイントで抽選に行ったところ、終了してしまっていたのがとても残念でした…ですが代替品を用意して下さったことはとても嬉しかったです。

質問16. 年会の講演以外に関する取り組みについて、良かったと思うものを選んでください<複数回答可>
(その他)

回答者 番号	その他記述
※	少し趣旨はずれませんが、参加証に学生のみ併記されているとポスター発表の際に円滑に進むかなと考えます。
※	参加章は見やすかったが、上半分が邪魔だった。名前と所属と小さいロゴくらいでいいのではないか。
※	大きなサイズの参加章はやめてほしい
※	twitterの活用。正直今回とても盛り上がったのは、運営側が参加者の声や会場の臨場感をリアルタイムで色々報告してくれたからだと考えている。とても頭の柔らかい、ユーモラス溢れる方が運営側にいらっしやっただ事と考える。とても楽しめました。ありがとうございます。
※	参加章に関して、大きくなったことで見やすくなったのはいいが、邪魔にも感じた。また、大きいために服やカバンに引っかかってしまい、ストラップをつけるところが紙なので破けてしまった。ストラップをつけるところが破れないのであれば、大きくてもいいと思う。
※	Meet my Hero・Heroin企画は、夕方～夜に行い、ポスターと発表と被らない時間帯にするともっと盛り上がるのでは、と思います。(どこまでも延長戦になりそうですが…)
※	参加章は大きく邪魔だった。例年通りの大きさにしてほしい。
※	参加章が少し大きすぎたように感じました。また穴の部分が簡単に破けてしまいました…参加章の位置が少し低いようにも感じたので、胸の辺りにバッジのように付ける参加章なども見やすくて良いかもしれないです。
※	アンサンブルでのシャコンヌは非常に聴き惚れました。

質問17-5. 年会参加登録費についてお聞きします(MBSJ2022の事前参加登録費:正会員15,000円、学生会員:3,000円、非会員[一般演題投稿なし]20,000円、[あり]30,000円、学部学生:無料) <複数回答可>
(年会参加登録費は誰が負担していますか(本人の私費・所属機関の運営費・外部から獲得した研究費・詳細は不明だが所属の研究室負担で参加できる等))

回答者番号	年会参加登録費は誰が負担していますか 記述
※	大学
※	本人の私費
※	自費
※	大学院生助成金
※	大学奨励金
※	個人のお金から支出
※	外部から獲得した研究費
※	本人取得の研究費
※	年会費は自己負担、参加費は研究費負担
※	私費
※	本人の私費
※	運営費
※	詳細は不明だが所属の研究室負担で参加できる
※	本人の私費
※	本人の私費
※	本人の私費大学院生も無料できればうれしい
※	本人の私費
※	所属機関の運営費
※	学生本人の私費
※	所属機関の運営費
※	私費
※	研究室負担
※	外部から獲得した研究費
※	本人の私費
※	自身で取っている科研費
※	私費
※	本人の私費
※	所属機関の運営費
※	所属機関の運営費
※	研究室負担
※	研究室負担
※	私費
※	大学講座に配分されている大学院費から負担していただいている。
※	詳細は不明だが所属の研究室負担で参加できる
※	詳細は不明だが所属の研究室負担で参加できる。
※	本人の私費

質問17-6. 年会参加登録費についてお聞きます (MBSJ2022の事前参加登録費: 正会員15,000円、学生会員: 3,000円、非会員〔一般演題投稿なし〕20,000円、〔あり〕30,000円、学部学生: 無料) <複数回答可>
(その他)

回答者 番号	その他記述
※	参加登録時に学会会員登録をしておらず、サイトの誘導通り、正会員で仮登録を行ったところ、学生にも関わらず正会員料金が引き落とされてしまった。運営にも連絡を取ったが、返金処置などもできず、かなり印象が悪い。運営面で後味の悪い学会となった。

質問18. 分子生物学会の年会では毎年、公式旅行代理店による宿泊予約受付や、年会託児室の設置(設置費用:年会負担、利用料:一部利用者負担)を行っています。それらの利用状況などについてお聞きします
<複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	公式代理店を経由しない方が同じホテルでも安価であった。

質問19. 本年会の開催形式(単独開催・他学会共催形式による連携※)について

※本年会において生物物理学会の会員は分子生物学会会員と同じ資格・参加費で参加可能としました。また生物物理学会の方にも年会組織委員の就任を依頼し、年会の企画・運営に携わっていただきました。一部のシンポジウムは生物物理関連分野のテーマで行われています。(その他)

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問20. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問21. 年会をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンサイト+オンライン)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ掲示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ダウンロードできなくてもオンラインではスクリーンショットがとれるので、懸念がある
※	時間がなく見たいシンポジウムなどがあっても途中退席したり欠席せざるを得ないなどもあるので、オンラインでも観られるようになれば嬉しいリアルタイム配信は無理だとしても、数日限定でオンデマンドなどあれば大変嬉しいです

質問22. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会的あり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	オンサイトの比重を減らすことで労力、運営予算が抑えられるなら、オンライン比率を高めていくのがよいと思うが、直接顔を合わせる機会は別途必要かもしれない。
※	かなり他の学会に比べて参加しやすく、楽しめる要素が多いので私個人はとて素晴らしい学会だと思う。ただ、会場に充電できるスペース(バッテリー忘れた人用)や前日まで準備で忙しいけど、朝から学会参加して、途中で疲れたけど夜に見たいセッションがある人向けに仮眠スペースができればいいなと思う。(コロナ禍でかつスペース的に作るの難しいと思う)
※	「ONLINE CONF」で、聞きたい発表がマイスケジュールとしてまとめられるのがとてもよかったが、タイムスケジュールと進行が著しくずれているワークショップがあり、聞きたい演題を聞くことができず、マイスケジュールの意味がなくなっていたことが残念でした。
※	バンドによる舞台は不要と感じた。学会という場にはバンドのような大音量の舞台は合わないと思う。しかし、ピアノやバイオリンといったバンドよりも音量が小さく、心に染み入るような演奏は続けていくべきだと感じた。
※	今年はポスター発表の際に何もアナウンスがなかったことから少し困惑した。オンラインで誰に「いいね」をされたのか観られる機能が欲しい。
※	今からでも良いので、オンライン登録・送金のミスについては柔軟な対応を望む。
※	学生として現地参加する最初で最後の学会となりました。ポスター発表を始め、サイエンスピッチ、シンポジウム、企業展示など、現地でしか味わえない充実した時間を過ごすことができました。一方で、普段お忙しい先生方は、オンラインで発表を視聴できるのありがたいとおっしゃっていました。これからは現地でも味わえない学会の楽しさ・面白さは残しながら、オンラインから気軽に参加できるような素晴らしい学会を後輩たちにも経験して欲しいと思いました。企画・運営をありがとうございました。楽しかったです。
※	サイエンスピッチが分野外の研究のポスター発表を見に行くきっかけになりました。
※	「分子生物アゴラ～激論コロッセオ」の通り、白熱したディスカッションを楽しむことができました。学会は、オンラインの良さもありますが、知っている先生とお話できたり新しい出会いがあったりとオンサイトならではの醍醐味がありました。ありがとうございました。
※	「逆襲の助教」は、取り組み自体はいいと思うが、学生にとっては滑っていたように感じた。
※	予定があり、現地で参加したのは一日目のポスター発表まででしたが、2日目の参加したかった演題をオンラインで視聴出来たのは良かったです。
※	会場について、ポスターの間の幅が広いことは人にぶつかることがなく良かったが、セッション会場もサイエンスピッチもオープンスペースに設置されていたので声が聞こえないことが多々あった。オープンスペースに設置されたセッションでは、パイプ椅子がいっぱい並べられていたが、間隔が狭かったために参加者が椅子に座れず入り口に溜まっていたセッションもあったので、会場を広めにとって椅子の間隔がもう少し空いていると良いと思った。
※	初参加の博士課程です。とても楽しく、こんなに楽しい学会があるのだと驚きました。SNSでは「ふざけすぎなんじゃないか」といった意見もありますが、「分子生物学会はもともとお祭りみたいなイベント」という感覚の人が多くようですし、他の専門的な学会とは住み分けてこのスタイルを貫いてくださることを願います。本当に楽しかったです。オーガナイザーの先生方、ありがとうございました。
※	企業ブース・ポスターブース・サイエンスピッチ発表場の全てが集約されている点が盛り上がりを感じて良かったです。会場近隣の飲食店や利き酒など、開催地ならではの楽しい思い出を作ることができた点もオンサイトの魅力だと感じました。また、サイエンスピッチを聞いた方がポスターに数名いらして下さったので、今後も是非続けてほしいです。また、サイエンスピッチを聞いた方がポスターに数名いらして下さったので、今後も是非続けてほしいです。
※	推しがチャが画期的でした。見つけられなかったかもしれないような、しかしとても魅力的な発表をいくつも見つけられました。ずっと利用したいです。ポスター発表会場の照明をもっと長い時間つけてください。早くから聞きに来てくださる方も、遅くまで聞いてくださるかたもいらっしゃいました。
※	ワークショップの発表と、ポスター発表をおこなった。登録サイトがわかりにくく、事前準備が大変であった。もう少し、やらなければならないことが明確であるとよかった。参加証が大きく扱いにくかった。ポスター会場が広すぎて、目当てのポスター探しに時間がかかりディスカッションの時間が短くなってもったいなかった。もっと区分化して似たテーマが近くに配置されていると回りやすかった。地元のお土産などが会場で買えるのは助かりました。また、Twitterなどで情報をしっかり発信して下さったのも見えて楽しかったです。タグつけてツイートしたら反応ももらったのも嬉しかったです！
※	今回分子生物学会には初めて参加しましたが、こんなに楽しい、そして勉強になる学会は初めてでした。特にmeet my heroで、憧れの先生方から公式の場ではなかなか聞けないようなお話を聞くことができ、とても良い経験となりました。壁に貼ってあった申請書もとても参考になりました。ありがとうございました。これから毎年参加したいと思います。
※	本事項は運営ではなく、年会開催を行ったイベント会社の責任と思われそうですが知っていただきたいため記載します。ポスター発表で参加したのですが、発表のスペースに行くとき「取り下げ」の紙が貼られており、覚えがないため事実確認をした際、下記の不手際がありました。①本部に電話をかける②本部曰く、おそらく前日取り下げた紙が残っていたままだった③おそらくと話しており、正確性に欠けるため確認をとってほしいと伝える④指定の場所に来るように言われ、通話が終わる⑤指定場所を探すも見つけられず、一度一階の受付から、本部の方を呼んでもらう⑥電話と同様の話を聞き、本会は例年より取り下げが多かったことを聞く⑦名前と発表番号を控えられたがそれだけで、ポスター発表ブースのマネージャーを探すように言われる⑧ブースに戻り、マネージャーを見つけ、事実確認が漸くでき、取り下げの表示をおろしてもらう以上です。今回話した本部の方やマネージャーの方を含む全員が誰も謝罪などされず、あまつさえ言い訳をする始末でした。このような体制であることを許しているようなイベント会社とは、関わってほしくありません。
※	分子生物学会の参加にあたって2年分の年会費を払いました。年度切り替えのタイミングを改めていただけるとありがたい
※	遊び心が溢れ、議論が盛り上がるとても良い年会だったと思います。運営の皆様の熱意が参加者にも伝わり、議論が活性化していたように感じます。ぜひサイエンスピッチを来年以降も続けてください。
※	ブラウザでスケジュールを組めるのが良かった。発表者、発表内容の検索は便利であったが、空き時間が生まれた際、その時間にある発表を検索できるような方法があればよかった。会場が広く迷いがちだったので、地図の設置場所を増やしてほしい
※	今回の分生のような活気ある学会に参加したのは初めてで、非常に励まされました。自身の専門分野とは少し離れていますが、可能であれば今後も参加したいと思えるほど楽しませていただきました。新しい取り組みがたくさんあって面白かったです。ありがとうございました。

質問22. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会的あり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	広い会場にさまざまなブースがあり、オープンな雰囲気です。運営の皆さんありがとうございました。
※	昨年と今年と、訳のわからない歌を出すのはやめてほしい。サイエンティフィックな議論の場としては不適切に感じる。
※	一部企画は内輪で盛り上がっている印象があったが、全体として非常に満足度の高い年会だったと思う。
※	ポスター発表の分類が本当にひどい。偏っていて自身の研究に合致する分野が無かった。大きな改善点。
※	Q7の補足ですが、以前@〇〇〇さんがツイートで、アメリカでのセクハラを目撃された際のマニュアルについて言及されていました。諸先生方におかれましてはそのような取り組みについても詳しく、蛇足かと存じますが、一応補足させて頂きました。高校生発表自体は良い試みだと思いますし、今後も同様に続けてほしいと思っています。性別にかかわらず、未来ある高校生が研究と発表の楽しさを実感できる場になってほしいです。
※	参加章は大きいと不便、邪魔になると感じました。縦長でなければまだよかったかもしれません。会場内の移動距離が多く、初日は受付や各会場がわかりにくかったです。感染対策についての取り組みをあまり感じませんでした。
※	いろいろコメントを記入しましたが、やはり日本分子生物学会は「面白い、良い学会だなあ」と思いました。私は中学生の時になんでも良いから研究者になりたい！と思っていました。大学は理学部に行きたいと思っていましたが、家庭の事情で薬学部に進学することになり、毎日必死に勉学に努めていました。5年生になり、研究室で卒業研究がはじまると楽しくて、そんな時に初めて参加した学会がこの日本分子生物学会でした。学会に参加し、想像以上の会場の広さや発表者の多さ、技術革新に感動し、私の頭の奥に眠っていた「研究者になりたい」というかつての夢が呼び起こされました。お陰様で現在、薬剤師兼博士課程2年で楽しく苦しんでいます！今後も期待しています！長文失礼しました。
※	とても素晴らしい年会で楽しかったです！色々な企画を用意して下さって本当にありがとうございました！また参加したい
※	祭りのような感覚で様々な生物学を武器に社会に出ているあるいはアカデミアに残る人と出会って非常に貴重な経験でし